

2013.7.19

7月27日の文化史サロン&懇親会のご案内

当研究会フェロー関昭郎さんの講演会と懇親会が7月27日に開かれます。  
あと数名の参加可能です。

フェローメッセージとプロフィールをご紹介します。

・フェローメッセージ

1990年代の半ば頃、造形的な評価が中心であった美術に疑問を持っていた頃にジュエリーに出会いました。デザインという言葉以前に、ジュエリーの造形には人の願いや恐れがいろいろなかたちで表現されていることに私は驚き、すぐに魅了されました。以来、たいへんに広範なジュエリーという文化・美術の一部をいくつかの展覧会にしました。まだまだ道半ばですが、ジュエリーを通して、人がなにを動機として造形活動を行っていくのかという疑問を考えることの重要性をあらためて考えるようになったことは、学芸員の仕事に役立っていると実感しています。

露木宏先生は長年、ジュエリーに対する私の疑問に惜しみなくアドバイスをくださり、時には一緒に考えてくださいました。そのような時間を、この研究会の場でより多くの方々と共有できることを楽しみにしています。

・プロフィール

関昭郎（せきあきお）

1963年、東京生まれ。東京都庭園美術館で「リバティー・スタイル展」(1999年)、  
「指輪展」(2000年)、「ヨーロッパ・ジュエリーの400年」(2003年)、「日本のジュエリー100年」(2005年)などの展覧会企画を通じて、古代から20世紀までジュエリーの造形とそこに表現された時代の精神性を読み解く試みを行う。東京都現代美術館では「SPACE FOR YOUR FUTURE」(2006年共同企画)、「オランダ・デザインの新言語」(2010年)でコンテンポラリー・ジュエリーと現代美術、デザインとの境界について考察した。現在、東京都庭園美術館事業企画係長

ジュエリー文化史研究会

幹事 戸倉博之

<http://www.j-bunka.jp/>

このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com